

# 愛される広報紙へ 広報おまえざきは創刊100号

市民の皆さんの笑顔に魅せられて成長してきた「広報おまえざき」。このまちを愛し、このまちに誇りをもってもらう。これからも、そんな情報を発信し続けていきたい。

## 平成16年5月創刊

毎月1回発行し、皆さんのご家庭にお届けしている「広報おまえざき」は、市の施策やまちの話題をわかりやすくお知らせするための広報紙として、新市御前崎市が誕生した平成16年の5月に創刊されました。

創刊号には、49年間の長い歴史に幕を閉じた旧浜岡町、旧御前崎町の閉町式や市役所玄関前で行われた開町式の様子が紹介されました。当時の広報担当者が、取材に際してくれた市民に紙面上でお礼を述べるとともに「これからも皆さんに読まれる広報紙を目指して頑張っていきたい」と語りかけています。

## 広報紙の役割とは

皆さんは「広報おまえざき」をどのような角度からご覧になっていますか。広報紙は市民と行政とをつなぐ重要なパイプ役でもあります。「〇〇制度ができました」、「〇〇しましょう」と、紙面上でお知らせしても、文字ばかりが並び、

難しい表現がされていたら、読む気はしないと思います。このまちをもっと良くしていくための手段や方法など伝えたいことはたくさんあります。しかし、伝えても理解してもらえなければ伝えていないのと同じことです。読んだ人に「その制度を利用してみよう」、「こんな政策、取り組みがあったんだ。私も考えてみよう」と思っていたことがお知らせするうえで重要です。

頑張る市内の団体や個人を取り上げ、市全体で応援することにより市民の一体感を盛り上げることや、市民活動への取り組みのきっかけづくりをすることも広報紙の重要な役割と考えています。

## 読まれる広報紙へ

広報紙の存在意義とは何なのでしょ。広報紙はお金を出して買う新聞や雑誌などとは違います。読まれない広報紙は、税金の無駄遣いと言われても仕方がありません。良い文章でも目に止まらなければ読んでもらえません。広報紙では、紙面の大半を占める文章も大切ですが、インパク

## 広報おまえざき ができるまで



①企画  
市民が知りたい情報や、行動するヒントとなるテーマを探して、どのように伝えるか企画します。

### ②資料収集

市の担当部署、インターネット、図書館などで資料を集めます。



③取材  
イベントなどの雰囲気や、伝える写真を撮影したり、市民の声を集めます。



④編集  
パソコンを使って原稿を作成したり、レイアウトの作業をします。

